

**【CSR活動】視覚障がいの方の「見える」もサポートしています
ゴールボール日本代表強化指定選手の山口凌河選手と、
盲目のシンガー・ソングライター栗山龍太氏をゲストに
パラスポーツをテーマにトークショーを開催**

2019年11月6日(水)会場:「BEYOND FES 日本橋」コレド室町テラスにて

株式会社シード（本社：東京都文京区、代表取締役社長：浦壁 昌広、東証1部：7743）は、2019年11月6日（水）にコレド室町テラスで開催された「BEYOND FES 日本橋」にて、ゴールボール日本代表強化指定選手である山口凌河選手と、来年度のパラスポーツ国際大会応援ソングを歌う盲目のシンガー・ソングライター兼盲特別支援学校職員の栗山龍太氏をゲストに迎え、視覚障がいをテーマとしたトークイベントを開催しました。



当社は眼の総合専門メーカーとして視覚障がいの方の見えるもサポートする「Pureな愛(eye)をありがとうプロジェクト」を2011年に起ち上げ、以来コンタクトレンズの売上の一歩を障がい者支援団体に寄付するとともに、視覚障がい啓発活動を行っており、この度パラスポーツを応援する人を増やす東京都のプロジェクト「TEAM BEYOND」が主催するイベント「BEYOND FES 日本橋」に初参加しました。

トークイベントの冒頭では、栗山氏が自身で作詞作曲し、第16回ゴールドコンサートの楽曲賞を受賞したパラスポーツ国際大会応援ソング「リアルビクトリー」を歌っていただきました。栗山氏は「自分が職員として働いている盲学校に陸上競技で来年度開催のパラスポーツ国際大会を目指している生徒がいて、その生徒の“目指しているものがあるから自分を高めていける”という言葉に感動し、パラスポーツの選手達を応援したいという思いから、この曲を作りました。最善をつくして戦いぬいた人たちが勝ち負けを超えて、共に認めあう尊い心が新時代を動かすパワーの源であり、リアルビクトリーだと思っています。」と歌に込めた思いを語りました。

また、ゴールボール日本代表強化指定選手の山口凌河選手にはゴールボールとの出会いや魅力について伺いました。山口選手は、「中学生3年生の時に難病レーベル病を発症し、わずか半年で見えなくなってしまった盲学校に進学しました。幼い時からずっと野球一辺倒だったのに、もうスポーツは出来ないのかなと思っていたところ、クラブ活動で“ゴールボール”的な存在を知りました。当時日本代表キャプテンでエースだった顧問の先生への憧れもあり、その未知のスポーツの世界に入りました。それが今につながっています。」と話しました。

その後も和気あいあいとトークセッションは進み、最後にゲストの2人から来場者の方々へのメッセージを頂きました。「来年度のパラスポーツ国際大会をきっかけにゴールボールをもっとみんなに知ってほしいです。そして、結果を出することで、応援してくださっている皆さんに恩返しをしたいです。(山口選手)」「応援する側として、もっとパラスポーツに光が当たって欲しいので、歌で選手たちを応援していきたいです。(栗山氏)」

トークショー開始時に司会から「ゴールボールを知っている人？」と聞いたときには、パラパラという拍手で来場者の1割程度でしたが、トークショーの終わりに「来年度のパラスポーツ国際大会でゴールボールを見たい人ー？」という質問がされると、客席から一斉の拍手が起きました。

【イベント概要】

名称 : BEYOND FES 日本橋
日時 : 11月5日(火) ~11月11日(月)
<トーキイベント開催日 : 11月6日(水) 19:00~19:30>
会場 : コレド室町テラス
住所 : 東京都中央区日本橋室町321
公式サイト : <https://www.para-sports.tokyo/fes/2019/>



山口 凌河 選手 (ゴールボール)

1997年1月5日生まれ。茨城県取手市出身。ゴールボール日本代表強化指定選手。関彰商事株式会社所属。

中学生の時に難病指定のレーベル症を発症し、その後半年でほぼ視力を失う。

2013年世界ユース選手権では金メダルを獲得。大学2年生の際に、東洋大学と当社が連携して行っているインターンシッププログラムに授業の一環として参加したことがきっかけで、その後も当社のCSR活動に係わっている。



栗山 龍太 (くりやま りょうた) 盲目アーティスト兼盲特別支援学校職員

1976年2月19日生まれ。大阪出身。11歳のときに病気で全盲となる。2001年より筑波大学理療科教員養成施設を卒業後、横浜市立盲特別支援学校職員として、鍼灸手技療法をはじめ医療系全般の指導に当たっている。

2010年国際フォーラム・ゴールドコンサートで入賞。「僕の取り柄と盲導犬」のCDをリリースし、シンガーソングライターとしてデビューを果たす。現在、東京や神奈川を中心に各種イベントに参加し、また、東日本大震災被災者の支援や盲導犬のチャリティー活動など社会貢献活動に取り組んでいる。当社とは「Pureな愛をありがとうプロジェクト」を通じて出会った。

BEYOND FES 日本橋 イベントスケジュール

	DAY 1 11月5日(火)	DAY 2 11月6日(水)	DAY 3 11月7日(木)	DAY 4 11月8日(金)	DAY 5 11月9日(土)	DAY 6 11月10日(日)	DAY 7 11月11日(月)
11:00	1 ステージ オープニング						
11:30					6 体験 羽田モーティックス	7 ステージ パラスポーツ	9 体験 清水課設 1→10*
12:00	1 体験 三井不動産	1 ステージ 梅田新聞社		4 体験 東京ブルーデ		8 体験 花火会	
12:30						9 体験 清水課設 1→10*	7 ステージ パラスポーツ
13:00							
13:30							
14:00							
14:30					10 パラスポーツ 新体操	6 ステージ 株式会社 株式会社	
15:00						5 体験 新潟弘済会	11 体験 SAM BEYOND
15:30							
16:00	2 体験 セレスボ			5 体験 新潟弘済会	5 ステージ ヒンズボ	6 ステージ 新潟	
16:30		3 ステージ 新潟弘済会			2 体験 セレスボ	10 体験 セレスボ	
17:00		3 体験 三井住友海上			7 体験 セレスボ		
17:30							
18:00	2 ステージ RacePicks					11 パラスポーツ 新体操	7 パラスポーツ 新体操
18:30		3 ステージ 新潟		4 ステージ 新潟	5 ステージ 新潟		
19:00		2 ステージ シード	4 体験 三井住友海上	5 体験 新潟			
19:30				5 体験 新潟			
20:00							

BEYOND FES 日本橋公式サイトより

【Pure な愛(eye)をありがとうプロジェクト 概要】

視覚障がいは目からの情報が得られない為に、歩行に不自由をきたしますが、目の役割を担って視覚障がい者の歩行、ひいては社会参加を助けるのがアイメイト(盲導犬)です。視覚障がいの方は、アイメイトとともに、あたかも目を得たかのように一人で自由に外を歩行します。「Pure な愛(eye)をありがとうプロジェクト」は、そんな“見える”を、2011年7月よりコンタクトレンズを通じてサポートしています。



今期よりさらなる見えるをサポートするため、アイメイト協会だけでなく、視覚障がい者の“見える”をサポートしている団体に寄付を拡げました。売上箱数に応じた寄付を行うことで、私たちがコンタクトレンズを装用して“見える”状態になると同時に、視覚障がいの方の“見える”もサポートしてまいります。

《活動実績》

- 寄付金(2011 年度～2018 年度) 累計 67,429,983 円
- 株主優待寄付金(2014 年度～2018 年度) 累計 6,670,000 円
- 関連会社であるタワーメガネ、シードアイサービス店舗、取引先での募金箱設置

Pure な愛をありがとうプロジェクト公式ブログ :<http://www.seed.co.jp/blog/eyemate/>

【会社概要】

会社名 :	株式会社シード (SEED CO., LTD.)
代表 :	代表取締役社長 浦壁 昌広
本社 :	〒113-8402 東京都文京区本郷 2-40-2 電話 03-3813-1111 (大代表)
ホームページ :	http://www.seed.co.jp
設立 :	1957 年 10 月 9 日
資本金 :	18 億 4,128 万円 (東京証券取引所市場第一部 : 証券コード 7743)
事業内容 :	●コンタクトレンズ事業 ●コンタクトレンズケア事業 ●眼鏡事業

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

株式会社シード 経営企画部社長室 金澤・大津 TEL 03-3813-1650 大津携帯 TEL 080-9368-2116	シード広報事務局 担当 : 新保 (しんぼ) TEL : 03-5411-0066 携帯 : 080-9874-4858 メール : pr@netamoto.co.jp
--	--